

「包む」に挑む
「包む」を創る

第61期中間株主通信

2022年1月1日～2022年6月30日

ダイナパック株式会社

証券コード：3947

ごあいさつ

目指すは“永遠企業” 果たすべき役割は“世の為、人の為”

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ダイナパック株式会社は、2005年大日本紙業株式会社と日本ハイパック株式会社が合併して誕生しました。

互いの強みを学び、磨き上げ、One Companyとして融合することにより包装業界にあって存在感のある会社として成長してまいりました。

IT、AIの進化に加え、新型コロナウイルスの感染拡大により社会や人々の行動は大きく変化しつつあります。また、サステナブルな社会を実現するために企業が負う責任は益々重くなっています。

このような状況下にあって、ダイナパックは、事業活動を通じて“世の為、人の為”になることを果たすべき役割として認識し、社会や顧客から支持され続ける“永遠企業”を目指します。



今後とも一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

ここに当社第61期中間（2022年1月1日から2022年6月30日まで）株主通信をお届けいたしますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

2022年8月

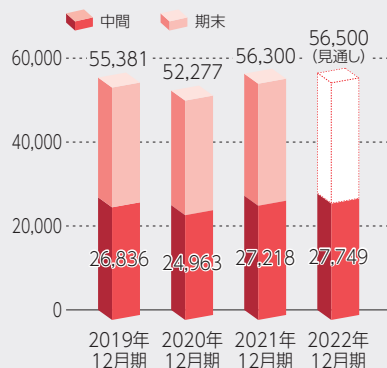
代表取締役社長 齊藤 光次

業績ハイライト

● 売上高

277億49百万円

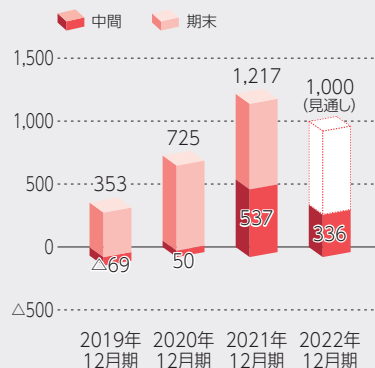
(単位：百万円)



● 営業利益

3億36百万円

(単位：百万円)

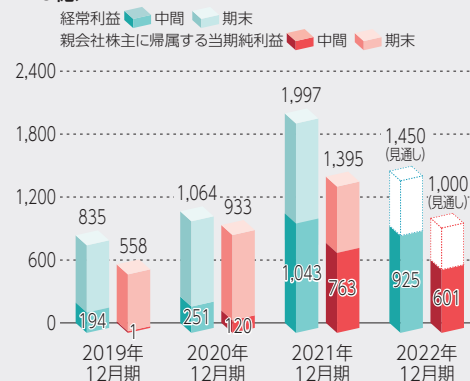


● 経常利益/親会社株主に帰属する当期純利益

9億25百万円

6億1百万円

(単位：百万円)





経営環境について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、依然として新型コロナウイルス感染症の影響を受けるなか、ウクライナ情勢など地政学リスクに起因する原油や資材価格の高騰により経済の不確実性が急速に高まりました。海外経済においても先進国におけるインフレの高進やウクライナと経済的な結びつきの強いユーロ圏の動向、中国での都市封鎖（ロックダウン）を起因とする供給網の混乱など不透明な状況で推移しました。

段ボールの国内生産動向は、1-6月累計数量（速報値）では前年比100.5%と、生産分野別では青果物などで減少があったものの、堅調な加工食品や伸長の続く通販により前年並みで推移しました。

当期の取り組み

このような環境下、当社グループの国内販売数量は、段ボールケースでは通販分野における需要の拡大を取り込んで前年から伸長したものの、青果物で前年から減少したほか、採算性を重視した顧客ポートフォリオの見直しなどにより、前年比97.0%となりました。段ボールシートではボックスメーカーが弱含みに推移し、前年比99.3%となりました。

収益面においては、印刷紙器事業や軟包装事業の増益により利益を押し上げる要因もありましたが、動力費、燃料費、副資材の上昇や段ボール事業において2月からの段ボール原紙の値上がりの先行負担をカバーしきれず、減益となりました。

海外事業では、3月下旬からの上海ロックダウンにより、中国経済のみならずサプライチェーンを通じて世界経済に大きな影響を与え、厳しい状況が続きました。

このような状況下、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は277億49百万円（前年同期は272億18百万円）、営業利益3億36百万円（前年同期は5億37百万円）、経常利益9億25百万円（前年同期は10億43百万円）および親会社株主に帰属する四半期純利益6億1百万円（前年同期は7億63百万円）となりました。

※当第1四半期連結会計期間より、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しております。

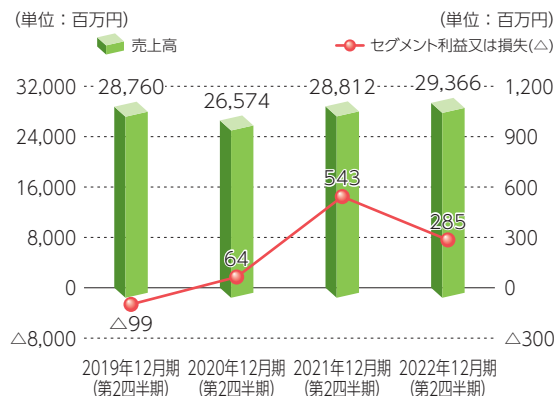
これにともない、前第2四半期連結累計期間と会計処理が異なることから、前第2四半期連結累計期間と比較しての増減額および前年同期比は記載しておりません。

包装材関連事業

事業内容

段ボールシート、段ボールケース、印刷紙器、美粧段ボールケース、オフセット印刷物、プラスチックフィルム等の製造販売、機械設備等の販売

当セグメントにおきましては、売上高は293億66百万円（前年同期は288億12百万円）、セグメント利益（営業利益）は2億85百万円（前年同期は5億43百万円）となりました。



不動産賃貸事業

当セグメントにおきましては、売上高は1億79百万円（前年同期は1億91百万円）、セグメント利益（営業利益）は1億45百万円（前年同期は1億56百万円）となりました。

※当第1四半期連結会計期間より、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しております。これにともない、前第2四半期連結累計期間と会計処理が異なることから、前第2四半期連結累計期間と比較しての増減額および前年同期比は記載しておりません。



第2四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期末 2021年12月31日現在	当第2四半期末 2022年6月30日現在
資産の部		
流動資産	23,410	25,152
固定資産	42,782	44,593
有形固定資産	21,016	21,740
無形固定資産	690	653
投資その他の資産	21,075	22,199
① 資産合計	66,192	69,746
負債の部		
流動負債	19,037	20,560
固定負債	7,978	8,354
② 負債合計	27,016	28,914
純資産の部		
株主資本	30,379	30,506
その他の包括利益累計額	8,732	10,254
新株予約権	8	8
非支配株主持分	56	62
③ 純資産合計	39,176	40,831
負債純資産合計	66,192	69,746

第2四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前第2四半期 2021年1月1日から 2021年6月30日まで	当第2四半期 2022年1月1日から 2022年6月30日まで
売上高	27,218	27,749
売上原価	22,484	23,232
売上総利益	4,734	4,516
販売費及び一般管理費	4,196	4,179
営業利益	537	336
経常利益	1,043	925
親会社株主に帰属する四半期純利益	763	601

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

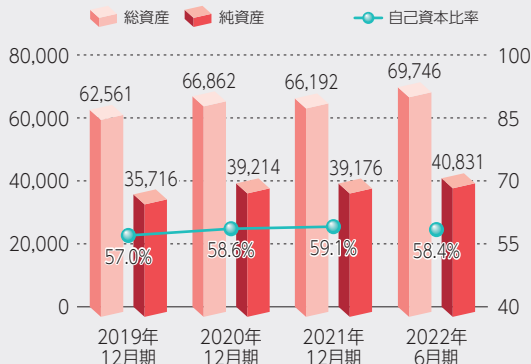
(単位：百万円)

科目	前第2四半期 2021年1月1日から 2021年6月30日まで	当第2四半期 2022年1月1日から 2022年6月30日まで
④ 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,268	1,693
⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,066	△ 641
⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,256	92
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	17
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 49	1,161
現金及び現金同等物の期首残高	2,228	3,263
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,179	4,425

総資産／純資産／自己資本比率

(単位：百万円)

(単位：％)



Point

- ① 当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ35億5400万円増加し697億4600万円となりました。これは、主に前連結会計年度末に比べ保有株式の株価上昇にともなう投資有価証券残高の増加および有形固定資産の取得による増加などによるものであります。
- ② 当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ18億9800万円増加し289億1400万円となりました。これは、主に短期借入金の増加、有形固定資産の取得にともなう支払債務の増加および投資有価証券の含み益の増加にともなう繰延税金負債の増加などによるものであります。
- ③ 当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ16億5500万円増加し408億3100万円となりました。これは、主に保有している投資有価証券の株価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加および急激な円安傾向にともなう為替換算調整額の増加などによるものであります。
- ④ 営業活動により得られた資金は16億9300万円（前年同期は22億6800万円）となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益を9億2500万円計上したことおよび減価償却費を9億5600万円計上したことなどによるものであります。
- ⑤ 投資活動により使用された資金は6億4100万円（前年同期は10億6600万円）となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出7億1700万円などによるものであります。
- ⑥ 財務活動により得られた資金は9200万円（前年同期は12億5600万円の支出）となりました。この主な要因は、短期借入金の増加7億6400万円、長期借入金の返済1億5500万円および配当金の支払4億9500万円などによるものであります。

会社情報



会社概要 (2022年6月30日現在)

商 号	ダイナパック株式会社
本 社	〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目14番15号
資 本 金	40億円
従 業 員	2,244名 (連結) 662名 (単体)
設 立	1962年 (昭和37年) 8月
事 業 内 容	段ボールシート、段ボールケース、印刷紙器、美粧段ボールケース、オフセット印刷物、プラスチックフィルム等の製造販売、機械設備等の販売、不動産の賃貸

役員 (2022年6月30日現在)

代表取締役会長	杉 山 喜久雄	取締役	富 澤 豊
代表取締役社長	齊 藤 光 次	取締役 常勤監査等委員	後 藤 禎 夫
取締役 専務執行役員	野 澤 政 司	取締役 監査等委員	児 玉 弘 仁
取締役 専務執行役員	篠 岡 尚 久	取締役 監査等委員	松 若 恵理子
取締役	深 井 靖 博		

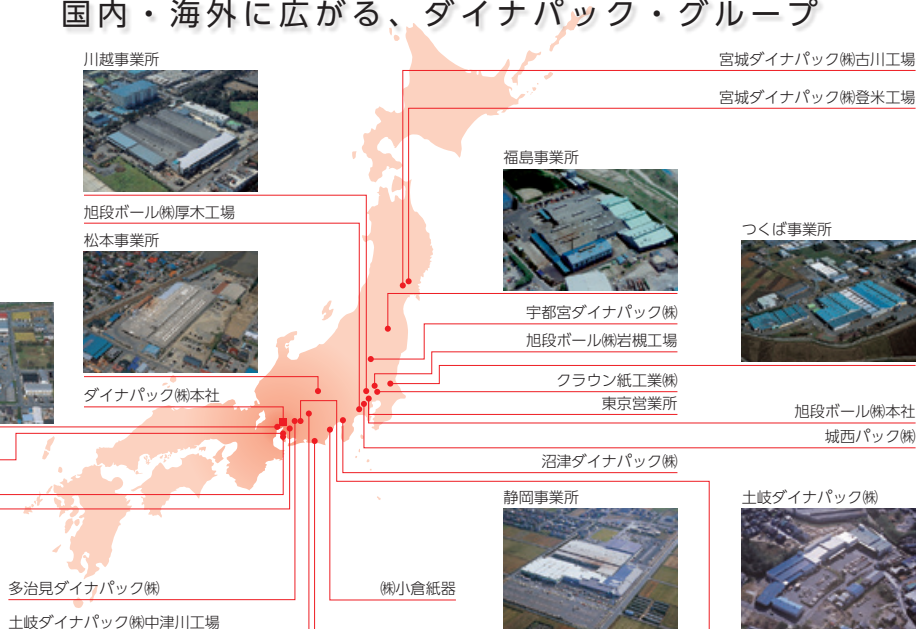
- (注) 1. 取締役の深井靖博氏および富澤豊氏は、社外取締役であります。
2. 取締役監査等委員の児玉弘仁氏および松若恵理子氏は、社外取締役監査等委員であります。
3. 当社は、取締役の深井靖博氏、富澤豊氏および取締役監査等委員の松若恵理子氏を東京・名古屋両証券取引所の定めに基づく独立役員として指定しております。
4. 取締役監査等委員の松若恵理子氏の戸籍上の氏名は、松本恵理子であります。

ネットワーク



国内事業所 7
国内グループ会社 11
海外グループ会社 6

国内・海外に広がる、ダイナパック・グループ



2022年1月20日付けで、城西パック株式会社の株式を取得し、子会社化しました。

株式情報



発行済株式総数 9,931,220株 (自己株式391,371株を除く。)

株 主 数 2,506名

単 元 株 式 数 100株

大 株 主 の 状 況

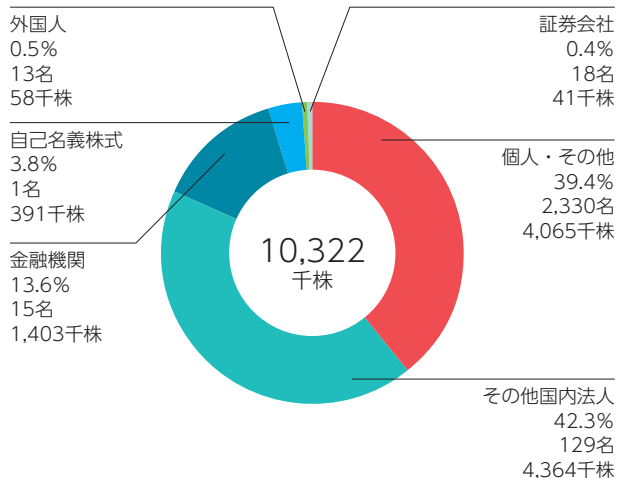
株主名	持株数	持株比率
カゴメ株式会社	1,703千株	17.1%
ダイナパック取引先持株会	1,069	10.7
株式会社三菱UFJ銀行	313	3.1
伊藤忠紙パルプ株式会社	289	2.9
丸紅フォレストリンクス株式会社	277	2.7
レンゴー株式会社	275	2.7
王子マテリア株式会社	272	2.7
第一生命保険株式会社	255	2.5
大王製紙株式会社	241	2.4
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	210	2.1

(注) 1. 持株比率は自己株式を控除し算出しております。

2. 当社は自己株式391千株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。

(2022年6月30日現在)

● 所有者別株式分布状況



ホームページのご案内

当社の

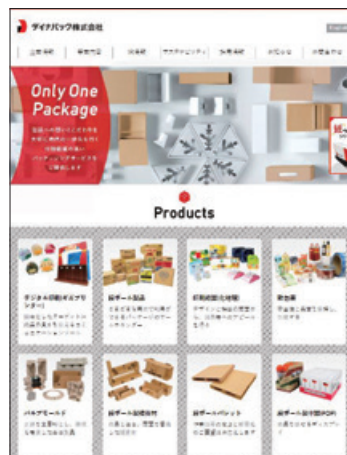
- 会社情報
- IR情報
- 採用情報

などはこちらからご覧ください。

ダイナパック

検索

<https://www.dynapac-gr.co.jp/>



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	3月下旬
単元株式数	100株
基準日	
定時株主総会・期末配当	毎年12月31日
中間配当	毎年 6月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および 全国各支店で行っております。
電子公告・決算情報掲載の ホームページアドレス	https://www.dynapac-gr.co.jp/koukoku.htm

(ご案内)

・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

TOPIC

本社の移転

2022年6月27日付けで、ダイナパック株式会社本社を名古屋市中区錦三丁目14番15号カゴメビル7階、8階に移転いたしました。



働き方改革の一環として、また、テレワークへの移行によるワークスタイルの変化に伴い、社員同士のコミュニケーションの促進、仕事の生産性向上、オフィスの省スペース化を目的として当社では初めてグループアドレスを導入いたしました。集中スペース、WEB会議用個別ブース、打合せ用ソファ席等、目的に応じた座席を設けるなどの工夫の詰まったオフィスになっております。これを機に、より一層の精進に努め皆様のご期待にお応えしてまいりたいと存じますので、今後とも倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

ダイナパック株式会社

本社：名古屋市中区錦三丁目14番15号

TEL：052-971-2651



この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。